

～市民のみなさまに親しまれる広報紙をめざして～

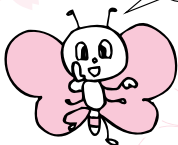
広報紙の題字デザイン入賞者決定!

昨年11月の広報紙で募集をし、198作品もの応募をいただきました。審査の結果、入賞されたのは下記のみなさまです。おめでとうございます。

(敬称略)

| | | | | | |
|-----|--------|-----|-------------------|-----|----------------|
| 4月 | 有尾 友恵 | 5月 | 浅岡 季咲 | 6月 | 平川 美穂 |
| 7月 | 天野 佳織 | 8月 | 木村 有作 | 9月 | 糟谷 朱果 |
| 10月 | 加藤 龍太 | 11月 | デイサービス 月の輝き利用者 | 12月 | 加藤 玲美 |
| 1月 | 齋藤 あおい | 2月 | 吉岡 忠男 | 3月 | 安城養護学校 封筒 班 |

入賞者の一組を
紹介します

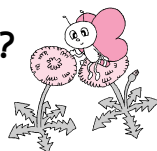


授業の一環で封筒作りを担当している安城養護学校高等部1年生の皆さんです(25年3月現在)。一枚の紙を丁寧に切り取り封筒の形を作ります。生徒がデザインしたスタンプを押したり、型抜きした色紙を貼り、素敵な封筒を作成しています。封筒は秋に開催されるあんじょう祭で販売しています。

入賞された題字は来年3月に掲載予定です。お楽しみに!

～今年度も親しみやすい広報紙づくりを目指していきますので、ご愛読よろしくお願ひします。みなさまのご意見やご質問もお待ちしています。～

特集 これならわかるふくし
地域包括支援センターってなあに?



'13 4/15 第49号

編集と発行 / 社会福祉法人 安城市社会福祉協議会
〒446-0046 安城市赤松町大北78番地4(社会福祉会館内)
TEL 0566(77)2941 • FAX 0566(73)0437
E-mail syakyo@city.anjo.aichi.jp http://www.anjo-syakyo.or.jp/

これならわかる!



地域包括支援センターってなあに?

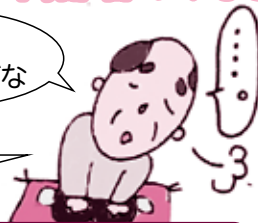
地域包括支援センターは、住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるように高齢者を支える総合相談機関です。保健師・看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の資格を持った相談員が介護・介護予防、人権や財産を守るための制度の紹介や、高齢者虐待の早期発見・防止など様々なサービスが提供される仕組みが機能するように、地域の関係機関のネットワークを作り包括的な地域ケア体制を整えています。

地域包括支援センター

相談の内容は、関係機関と協議する以外は、外部へはいっさいお返ししませんので安心してご相談ください。

在宅介護支援センター

もの忘れが心配だな
誰に相談したらいいのかな



生活や健康についての
困りごとや心配ごとなど

高齢者のご家族

困ったなあ



認知症について
知りたいなあ

介護に疲れたなあ

高齢者についての心配ごと、
介護の疲れや悩みなど

市役所

介護保険サービス

地域のみなさま

虐待されているかもしれない高齢者を知っている



近所の高齢者やご家族についての心配ごとなど

民生委員

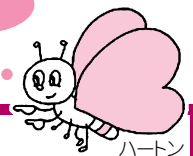
町内会 町内福祉委員会

地区社会福祉協議会

社会福祉協議会

医療機関

困りごとをひとりで抱え込まないように
しましょう



ご相談は 篠目・西・安祥・南・桜井・明祥中学校区にお住まいの方

安城市地域包括支援センター（社会福祉会館1階）

☎(77) 2945

東山・北中学校区にお住まいの方

安城市中部地域包括支援センター（中部福祉センター2階）

☎(71) 0077

Go! Go!

ハートン

安城市協会の
イメージキャラクター
だよ



こんにちは、ハートンを
こ



お花見
楽しんで



春は桜の本節だね



どついたら
いこのかなあ



でも、お花見に
行けない人もいるね



お花見
に行けるね!



サルビア号を
かりながら

※社協では車イスのまま乗れる車を負し出しています。
申込み▼総合・北部・作野・西部・桜井福祉センター
問い合わせ▼地域福祉係 ☎(77)770000

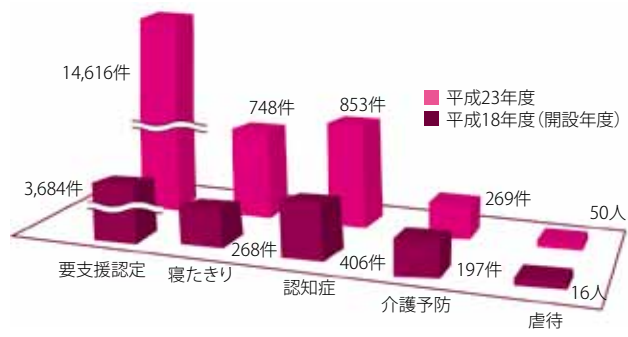
ふくし知識 く私たちのまちは今

下のグラフは、高齢者の生活を支える総合機関である地域包括支援センターに寄せられる相談内容の内訳です。

高齢化は安城市においても進んでおり、相談件数も増加しています。センター開設当初と比較すると、さまざまな内容の相談件数が2倍以上となっています。

地域包括支援センターでは、みなさまが安心して暮らせるよう、介護保険だけではなく、高齢者に関する各種相談を幅広く受け付けています。

地域包括支援センターの 主な相談内容内訳



Pick Up! ふくしおすすめ本 中根文庫より

高齢者は社会的弱者なのか

今こそ求められる「きこいのプラン」

袖井 孝子著

家族学の専門家である著者が、人口問題から今後の高齢者像を予見し、介護保険制度や福祉サービス等のサポート体制を検証しながら、高齢者を「依存」ではなく「自立」して元気に生きるためのヒントを提供しています。



心も体もすっきり腰痛体操

余暇問題研究所著

本書は腰痛の解説書ではなく実際に体操をしていただくための実践書です。自分の腰と上手に付き合い、無理なく楽しく腰痛予防やその回復を目指すためのヒントとなる内容です。姉妹シリーズですっきり肩こり体操』もあります。



*社会福祉会館で借りることが出来ます。
問い合わせ▼事業係 ☎(77)2941

在宅介護支援センター ひがしばたオープン



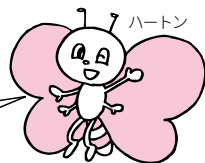
在宅介護支援センター
ひがしばた

在宅介護支援センターひがしばたは、安城市の委託を受け平成25年4月に開設しました。当センターは「特別養護老人ホームひがしばた」に併設し、今まで在宅介護支援センター南部が行っていた業務を引き継ぎ、明祥中学校区を担当します。

専門の職員が、高齢者の介護に関する様々な心配事についてご相談にのり、民生委員・ボランティア・安城市役所・社会福祉協議会などの方々と連携を取りながら、保健・医療・福祉の各種サービスを紹介します。

また、職員がご家庭を訪問し、日頃の様子を伺いながら福祉サービス等の説明をさせていただきますこともあります。相談は無料です。

これらのサービスを通じ、地域のみなさまとの出会いを大切にしながら、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
問い合わせ▼ ☎(73)8210



ハートンからの
おしらせだよ！

手話入門講座

講師と楽しく会話しながら、手話の基本を学ぶ講座です。

簡単な日常会話の習得を目指して、ボランティア等で実践できる喜びを一緒に分かち合いましょう！

日時▼6月7日から10月25日まで
の毎週金曜日(8月16日を除く)
19時～21時 全20回

場所▼総合福祉センター 会議室3

対象▼市内在住または在勤で初めて手話を学ぶ18歳以上の人

定員▼20名

参加費▼1260円(テキスト代)

※託児をご利用いただけます。
(3000円/回) 要申込み
受付▼4月20日(土)9時から電話にて受付

申込み・問い合わせ▼

ボランティアセンター(社会福祉会館内)

☎(77) 2941



手話基礎講座

入門講座やサークルで手話を学んだ経験のある人を対象に、さらなる手話技術の向上を目指す講座です。

日時▼6月1日から11月16日まで
の毎週土曜日(8月17日、
10月5日を除く)
10時～正午 全23回

場所▼社会福祉会館 講座室他

対象▼市内在住または在勤で入門講座修了か、手話サークル

等で学んだ経験のある18歳以上の入

定員▼20名

参加費▼1470円(テキスト代)

※託児をご利用いただけます。
(3000円/回) 要申込み
受付▼4月20日(土)9時から電話にて受付

申込み・問い合わせ▼

ボランティアセンター(社会福祉会館内)

☎(77) 2941

介護者のつどい

地区社協では、介護者のリフレクシユと情報交換の場として、介護者のつどいを開催しています。

参加費・申込み不要で入退室も自由です。介護をしている方、介護に関心のある方など、お気軽にご参加ください。

桜井地区

日時▼4月26日(金)

13時30分～15時30分

場所▼桜井福祉センター

3階 多目的室1

問い合わせ▼

桜井地区社協(桜井福祉センター内)

☎(99) 7365

中部地区

日時▼5月9日(木)

13時30分～16時

場所▼中部福祉センター

1階 多目的室

問い合わせ▼

中部地区社協(中部福祉センター内)

☎(76) 0090

福祉講演会

孤立死は、他人事ではなく身近でも起こり得ることです。現場からの生の声に、地域で孤立死を防ぐヒントがあります。

日時▼5月11日(土)
10時30分～12時

場所▼中部福祉センター

1階 集会室

演題▼「身近で起きている孤立死の現状！」

講師▼キーパース代表取締役

吉田太一氏

定員▼80名

申込み・問い合わせ▼中部地区社協
(中部福祉センター内)

☎(76) 0090

アフリカへ毛布を送る運動

アフリカの人々に送るまごころの毛布を募集します。新品またはクリーニング済の毛布を、直接会場までご持参ください。海外輸送費募金(千円/1枚)も同時に行っています。

日時▼5月19日(日)10時～14時

場所▼ピアゴ安城店

(日の出町1-21)

主催・問い合わせ▼

アフリカへ毛布を送る運動推進委員会

☎(75) 8183



東日本大震災義援金の受付が平成26年3月31日まで延長になりました。息の長い支援をお願いします。

